

**足立区地域公共交通活性化協議会
地域公共交通分科会（扇周辺地区） 会議録**

会 議 名	足立区地域公共交通活性化協議会地域公共交通分科会（扇周辺地区）
事 務 局	足立区都市建設部交通対策課
開催年月日	令和８年９月１８日（金）
開催時間	１４時３０分～１５時００分
開催場所	足立区役所 南館１３階 大会議室Ａ
出席者	別紙「地域公共交通分科会委員名簿」のとおり
会議次第	議事次第のとおり
資 料	<p>足立区地域公共交通活性化協議会地域公共交通分科会（扇周辺地区） 次第 同 委員名簿 同 座席表</p> <p>【議事】</p> <p>１ 足立区地域公共交通計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料１－１ 運賃分科会の結果報告（扇周辺地区の実証実験運賃設定） ・資料１－２ 扇周辺地区の地域内交通実証実験について ・資料１－３ 乗降スポット位置図

(審議経過)

次第1 開会

事務局（角田新たな交通担当課長）

それでは、定刻より少し早いのですが、皆様お揃いになりましたので始めさせていただきます。令和8年度足立区地域公共交通活性化協議会地域公共交通分科会を開催させていただきます。本日はご多忙の中ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

私は本日司会を務めます本協議会事務局の新たな交通担当課長の角田(つのだ)と申します。よろしくお願いします。

本日の会議は議事録を作成する関係上、会議内容を録音させていただきたいと思っております。作成した議事録につきましては、後日区ホームページにて公表を予定しております。また記録として、会議室の側方から会議中の様子を撮影させていただきますので、ご容赦ください。

それでは、まずは本日の資料を確認させていただきます。席上に配布させていただきました資料を読み上げますので、お手元に揃っているかどうか確認をお願いいたします。

《配布資料の確認》

本日の議事次第

委員名簿

座席表

「資料 1-1」運賃分科会の結果報告

「資料 1-2」扇周辺地区の地域内交通実証実験について

「資料 1-3」乗降スポット位置図

以上が本日の資料となりますが、不足の資料等がありますでしょうか。

事務局（角田新たな交通担当課長）

各議事については、それぞれ質問・意見交換の時間を設けさせていただきます。

それでは最初に、本日の出席者のご紹介でございますが、配布している委員名簿をご覧くださいと思います。本分科会では、地域公共交通利用者、公共交通事業者、関係する機関の皆様にご出席をいただいております。大変恐縮ではございますが、お時間の都合もございますので、こちらの名簿をもちましてご紹介と代えさせていただきたいと思っております。皆様の着席位置につきましては、座席表よりご確認くださいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、分科会長であります足立区交通対策担当部長の長澤部長より、開会のご挨拶をお願いします。

地域公共交通分科会長（長澤部長）

皆さんこんにちは。分科会長を務めさせていただきますいております、足立区の交通対策担当部長の長澤でございます。よろしくお願いいたします。着座で失礼いたします。

本日はお忙しい中ご参集いただきましてありがとうございます。本日の議題でございますけれども、「扇周辺地区」ということで、本日は協議会の会長様にもご出席いただいておりますけれども、地域の皆様と2年ほどお話し合いを続けてまいりました。本日の会議に至るわけですが、足立区としましても地域内交通ということでは3地区目でございます。常東地区、花畑地区、そして今回の扇周辺地区という形で進めさせていただ

いているところでございます。

先ほど本分科会に先立ちまして、運賃分科会を開催させていただいたところでございます。後ほど報告があるかと思いますが、併せましてご審議のほどよろしくをお願いいたします。

次第2 議事

事務局（角田新たな交通担当課長）

それでは、ここからの次第に沿った議事につきましては、長澤部長にお願いいたします。本日はこれまで関係者の皆様にご協議を進めていただきました扇周辺地区の地域内交通に関しまして、採決を予定しております。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは長澤部長、進行よろしくをお願いいたします。

地域公共交通分科会長（長澤部長）

議事の1つ目でございます、「扇周辺地区における地域内交通について」、(1)報告事項①「運賃分科会の結果報告」について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局（大森新たな交通担当係長）

交通対策課の大森と申します。私からご説明をさせていただく前に、足立区地域公共交通活性化協議会における本分科会の位置付けを説明させていただきます。

足立区地域公共交通活性化協議会では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、足立区の地域公共交通計画の作成、改定、実施に関する協議を行っております。本分科会は、足立区地域公共交通活性化協議会規約により、地域公共交通計画の策定や見直し、また各地

区における具体的な運行計画や実証実験の実施に関する専門的な事項を協議する権限を委譲された会議体となっております。

協議事項は全委員の4分の3以上の賛成で可決され、足立区地域公共交通活性化協議会へ結果を報告することとしております。

《資料1「運賃分科会の結果報告（扇周辺地区の実証実験運賃設定）」

について事務局（大森新たな交通担当係長）より説明》

では具体的に資料の説明に移らせていただきます。まず「資料1-1」をご覧ください。先んじて行われました運賃分科会の結果を報告させていただきます。表紙をおめくりください。

運賃分科会の結果報告ということで、運賃設定につきましては「1回の乗車・現金払いのみで200円」という金額で、未就学児は無償という形で先ほど可決をいただきました。

こちらについてより詳しくお話をさせていただきますと、まずは住民の方への意見聴取をさせていただいておりまして、聴取期間は令和8年8月27日から令和8年9月10日です。足立区のホームページから募集するような形をとらせていただきまして、この期間に意見が3件出ておりましたので、こちらに記載をさせていただきます。

1件目は「運賃について高齢者は無料にするべきなのではないか」というご意見がございました。

2件目に記載させていただいている意見は運賃というよりもサービスの内容に

についての意見でしたので、ここでは割愛をさせていただきます。

3 件目について、「令和 9 年 1 月より扇周辺地区で乗合型デマンド交通が導入されるということで、運賃 200 円の設定というのは誰でも利用しやすい金額だと思います」ということでご意見をいただいております。

こうしたご意見に基づき、運賃設定をさせていただきました。次のページの「運賃設定の考え方」をご確認ください。運賃設定に際しては、民業圧迫となり周辺の既存公共交通網が縮小しないよう配慮したうえで、地域全体の利便性が低下しないように運賃設定する必要があると考えております。

また、運行経費の大部分を区が負担しているということから、運行範囲や導入する交通手段などを鑑みて、当初から利用しやすい運賃を設定した上で、利用者に一律にご負担いただくということを考えております。そのため運賃に関するご意見もありましたが、高齢者に限って無料にするということは考えておりません。

なお、他自治体の乗合型デマンド交通の事例を参考に、未就学児の料金は無料とさせていただきます。以上のことから、周囲の既存公共交通網の状況や導入する交通手段の利便性など総合的に勘案し、1 乗車につき 200 円で運賃設定させていただきたいと思います。

以上、運賃分科会の結果報告となります。よろしくお願いいたします。

地域公共交通分科会長（長澤部長）

それでは①運賃分科会の結果報告につきまして、何かご質問とご意見等ございましたらご発言をお願いしたいと思います。

すが、いかがでしょうか。

【意見なし】

次の議事に移りたいと思います。協議事項②「扇周辺地区の地域内交通実証実験について」、事務局より説明をお願いします。

≪資料 1-2「扇周辺地区における地域内交通実証実験について」

資料 1-3「乗降スポット位置図」

事務局（大森新たな交通担当係長）より説明≫

事務局（大森新たな交通担当係長）

「資料 2」と書かれた資料をもとに説明をさせていただきます。補足として「資料 3」も同時にお手元にお持ちいただければと思います。

まずは扇周辺地区で地域内交通実証実験をするにいたった経緯ですが、はるかぜ 10 号の廃止により地域から代替の移動手段を導入したいという要望を受けました。ご要望を受け地域の有志の方々から構成される地域協議会と区で連携しながら検討を進め、乗合型デマンド交通を導入するにいたしました。今後は地域協議会、システム会社、運行事業者、足立区のそれぞれが連携及び協力し、持続的な地域内の交通手段となるか否かを実証実験を通して検証させていただきたいと思います。

次に運行計画についてです。

運行形態は区域運行型（扇周辺地区内を運行する交通ということで考えておりまして、下側のページ「乗降スポット位

置図」というところが、この交通が停車するスポットになります。乗降スポット間のみを運行するということになります。このスポットのより詳しい内容は資料 3 の乗降スポット位置図にまとめておりますので、適宜ご確認をいただければと思います。

愛称名は地域の方々と協議させていただいて一般の募集も行ったうえ、「らくだ扇」というような名前で今後進めてまいります。

実験期間は令和 9 年 1 月 18 日から開始を予定しておりまして、令和 9 年 12 月 24 日までとさせていただきます。

運行頻度は週 3 日（月曜日・火曜日・金曜日）とさせていただきます。祝日は運休といたします。

運行時間は 8 時から 15 時まで（そのうち 12 時から 13 時は休憩となります）。

利用運賃は先ほどお話しした通り、1 回のご利用あたり 200 円、現金のお支払いのみとなりまして、未就学児は無料とさせていただきます。

利用対象者はシステム会社（株式会社アイシン様）が提供する「チョイソコ」というサービスを使って運行していくことになり、事前の会員登録を済ませている方が利用対象者となります。住所要件等は設けず、登録さえいただければどなたでもご利用いただけます。

運行事業者は日の出交通株式会社様にお願いさせていただきます。

予約方法は電話またはアプリの 2 種類です。利用日の 1 週間前から利用日当日 1 時間前まで予約が可能となっております。電話予約は運行している曜日のみ可能になります。アプリの場合は利用日

の 1 週間前から予約が可能となります。

乗降スポットは全部で 55 ヶ所設定いたします。

運行方法は運行事業者が保有する車両 1 台で、ジャパントクシーを使用します。

乗降方式は先ほどお示しいたしました 55 ヶ所の乗降スポット間を移動する形になります。

運行許可は道路運送法第 21 条による実証実験運行という形で許可を取れるよう申請いたします。

また、もう 1 枚めくっていただきまして、裏側が先ほど番号で示しました乗降スポットの名称と住所になりますので、こちらも適宜ご確認いただければと思います。ここまでで、今回の運行計画についての説明は以上になります。

地域公共交通分科会長（長澤部長）

それでは、ただいまご説明させていただきました扇周辺地区の地域内交通実証実験について、何かご質問・ご意見等がある方はご発言のほどお願いいたします。いかがでしょうか。

地域公共交通分科会委員（扇周辺地区地域内交通協議会萩原会長）

地域内交通の協議会で一度お話がありましたが、電話予約の当日予約は、何時間前までに予約できるのでしょうか？

もう一度説明をお願いしたいです。

事務局（大森新たな交通担当係長）

1 時間前です。先行して実証実験を実施している常東地区でも最初は 1 時間前までとさせていただきます。乗務員もシステムになれるまでに時間がかかることもありますので、実証実験開始後に運

行事業者の意見も聴取しながら、直前の 30 分前予約を可能にしました。そのため実証実験開始当初に関しては利用の 1 週間前から 1 時間前までの間で予約いただく運用となります。

地域公共交通分科会委員（扇周辺地区地域内交通協議会萩原会長）

ありがとうございます。

地域公共交通分科会長（長澤部長）
その他いかがでしょうか。

地域公共交通分科会委員（交通事業者）

私は利用したことないので分かりませんが、例えば 1 番から 55 番の乗降スポットを予約に応じて運行するというのでしょうか？

事務局（大森新たな交通担当係長）
おっしゃる通りです。

地域公共交通分科会委員（交通事業者）

200 円で移動できるということですか。

事務局（大森新たな交通担当係長）
はい。スポット間の移動であれば、距離に関わらず一律で 200 円ということになります。

地域公共交通分科会委員（交通事業者）
便利ですね。

地域公共交通分科会長（長澤部長）

各バス停ともうまく連携・接続し乗り続けるような形で乗降スポットを設定しております。

その他いかがでしょうか。

【意見なし】

地域公共交通分科会長（長澤部長）
ご意見ないようですので、ただいまの「扇周辺地区の地域内交通実証実験について」の採決に移ります。賛成の方は挙手をお願いいたします。

【挙手（賛成）多数】

地域公共交通分科会長（長澤部長）
はい、皆さん全員賛成ということですので、ありがとうございます。委員の全体の 4 分の 3 以上が賛成となりましたので、本議案は可決いたします。
その他、報告事項等ある方はいらっしゃいますでしょうか。ご参加の皆様で何かあれば、この機会にいかがでしょうか。

【発言なし】

それでは本日の議題はすべて終了となりますので、これをもちまして閉会を宣言させていただきたいと思います。これ以降の進行は事務局の方にお返しします。

事務局（角田新たな交通担当課長）
ありがとうございました。それでは最後に、本日お車でお越しの方への事務連絡でございます。お車でお越しの方につきましては精算処理させていただきますので、駐車券の方を事務局までお渡しい

ただければと思います。

本日はお忙しい中ご出席いただきまして、誠にありがとうございました。